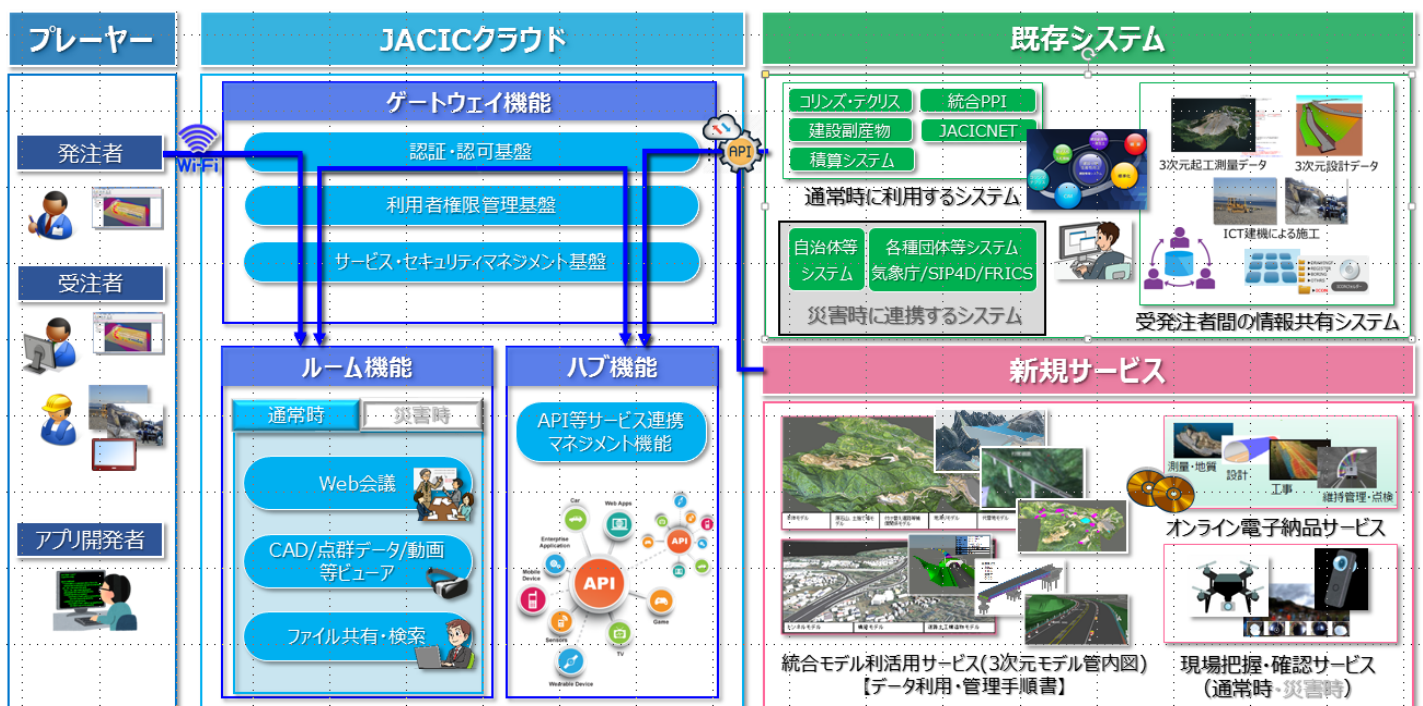


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト <b>ICT</b> 品質 <span style="color: red;">（該当分類に○を付記）</span>		
技術名称	JACICクラウド	担当部署	経営企画部
NETIS登録番号		担当者	高橋 克和
社名等	（一財）日本建設情報総合センター	電話番号	03-3584-2404
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>国土交通省が推進するi-Constructionの本格的な推進に向け、3次元データ等の利活用が円滑に行える環境整備の要となるクラウドの構築を目指し、建設情報の活用による建設プロセスの効率化、高度化に取り組むこととした。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>クラウド利用により3Dモデルやデータの共有化を即時点に可能とする技術。 発注者や受注者など様々な関係者の参加及び様々なシステム、モデル、データベースの利用が可能となり、測量・調査、設計、施工、維持管理までの建設プロセスや発注、契約から電子納品、保管までの事務・契約等の公共調達プロセスにおいてサービスの提供を可能にする。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p><b>新現場力の構築</b> 情報技術を活用することにより、担い手不足などによる低下してきた現場力の補完、回復、飛躍的向上をはかる。</p> <p>①公共調達基盤（プラットフォームA） 発注、契約からオンライン電子納品までの公共調達基盤の提供が可能となる。</p> <p>②建設プロセス基盤（プラットフォームB） 河川、ダム、砂防、道路等事業や管理において、プロジェクト管理、維持管理、災害時対応等各場面に応じた基盤を構築することにより、成果品や計測データ等の利活用が可能となる。</p> <p>③社会基盤（プラットフォームC） インフラデータや様々なデータ連携により、まちまるごとの地震や津波等の被害シミュレーションの実施など社会資本整備に広く役立つ基盤の構築が可能となる。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>①コリンズ・テクリスや建設副産物システム等におけるワンストップ化や手順の軽減 ②JACICクラウドを活用したサイバー空間上の会議室機能 ③3Dモデルやデータを活用した新しいサービスの提供</p> <p>5. 活用実績</p> <p>令和元年秋試行 令和2年本格運用予定</p>		

6. 写真・図・表



JACICクラウドの全体



クラウドによる災害対策支援